

一般演題6-4

弛緩出血による出血性ショック後に合併した麻痺性イレウスに対する高圧酸素 (HBO) 治療の使用報告

田中義人 山田法顕 土井智章 豊田 泉
小倉真治

岐阜大学医学部附属病院 高度救命救急センター

【はじめに】

イレウスに対する高気圧酸素治療 (以下HBO) は、腸管内の異常気体を圧縮・吸収して腸管内血行を再開し、大量の溶解酸素の供給により蠕動を回復し有効であると考えられている。しかし、出血性ショックに関連した麻痺性イレウスに対するHBOの有効性に関する報告はない。今回我々は、術後弛緩出血による出血性ショックに関連した麻痺性イレウスに対してHBO (2ATA 60分 1日1回) を早期から行い、有効であった3症例を経験したので報告する。

【症例】

症例1:36歳、初産。凍結融解胚盤胚移植後。妊娠36週6日、近医で妊娠高血圧症のため緊急帝王切開術を施行。術後に弛緩出血による出血性ショックとなり当院へ転院搬送となった。人工呼吸管理下に血管内治療にて右子宮動脈を塞栓し止血。第6病日に抜管。第7・8病日に麻痺性イレウスに対してHBOを行ない、イレウスは軽快した。

症例2:26歳、初産。妊娠40週6日に近医で分娩誘発後に子癇発作を起こしたため緊急帝王切開術を施行。術後に弛緩出血による出血性ショックとなり当院へ転院搬送となった。人工呼吸管理下に血管内治療にて両側子宮動脈を塞栓し止血。第3病日に抜管し、第4・5病日に麻痺性イレウスに対してHBOを行ない、イレウスは軽快した。

症例3:35歳、初産。妊娠40週6日に近医でHELLP症候群と診断され緊急帝王切開術を施行。術後に弛緩出血による出血性ショックとなり当院へ転院搬送となった。人工呼吸管理下に血管内治療にて右子宮動脈を塞栓し止血。第9病日に抜管し、第10～12病日に麻痺性イレウスに対してHBOを行ない、イ

レウスは軽快した。

【結語】

弛緩出血による出血性ショックに関連した麻痺性イレウスに対するHBOを3症例経験した。2～3日間のHBOで全例麻痺性イレウスは改善し、出血性ショックに関連した麻痺性イレウスに対するHBOの有効性が示唆された。イレウスに対するHBOのエビデンスを示すために更なる研究が必要である。